

ア 創立60周年記念シリーズ

豊橋交響楽団名古屋公演

～パイプオルガンの響きとともに 豊響、名古屋で再び～



新田 ユリ

2026年12月6日(日) 開場14:15 開演15:00

愛知県芸術劇場コンサートホール

曲目：交響曲第3番 ハ短調 オルガン付き (サン＝サーンス)

チェロ協奏曲 ホ短調 (エルガー)

カレリア序曲 (シベリウス)

指揮：新田ユリ 独奏：山澤 慧(チェロ) 都築由理江(オルガン)



山澤 慧

入場料

一般 2,000円 小中高生 500円 (身分証のご提示をいただく場合がございます)

チケット発売 一般発売 8月16日(日)10時から

※指定席1・2階席 自由席3階席

チケット取り扱い

【WEBチケット(指定席・自由席)】電子チケット販売サービスteket

【紙チケット(自由席のみ)】(公財)豊橋文化振興財団(プラットチケットセンター)、
豊橋市民文化会館、ライフポートとよはし総合案内所、芸文プレイガイド(052-972-0430)

その他

※7月に豊響後援会向けに指定席の先行予約を行います。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

(託児〈先着順〉をご利用ください。)

※前売り券完売の場合、当日券の販売は行いません。

お問い合わせ先

090-3157-1661 (豊橋交響楽団事務局)

主催：豊橋交響楽団 (公財)豊橋文化振興財団

共催：豊橋市

協賛：サーラグループ

協力：(公社)日本アマチュアオーケストラ連盟

後援：豊橋市教育委員会 中日新聞社 豊橋ケーブルネットワーク株式会社[ティーズ]

やしの実FM 豊橋交響楽団後援会

お知らせ

託児：予約制・有料(1,000円)です。予約締め切り：11月22日(日)

必要事項：①お子様のお名前 ②年齢
③連絡先電話番号 ④食物アレルギーの有無

予約先：豊橋交響楽団事務局

TEL・FAX (0532)62-1661 事務局携帯 090-3157-1661

お出かけは、公共交通をご利用ください。

東三河MaaS いこまい



豊響、名古屋で再び

豊橋市は愛知県の東の端、名古屋市からはちょっと離れた所にある街です。そこで生まれた市民オーケストラが還暦を迎えました。そして企画したのが三年がかりの「創立60周年記念シリーズ」。その総仕上げが団として半世紀ぶりの名古屋公演です。

せっかくなら愛知県が誇る音楽の殿堂で、さらに本物のパイプオルガンの響きも一緒に。そんな豊橋の若者たちの夢が、新田ユリ氏のタクトの下、形になりました。

演奏会の幕開けは、Cdur(ハ長調)の明るい響きが印象的な「カレリア」序曲。続けてエルガーのチェロ協奏曲では山澤氏と豊響の掛け合いが幽玄な世界を描きます。そしてメインはサン＝サーンスの「オルガン」。会場いっぱいに広がる絢爛豪華な響きが聴くものを天上へと誘います。ぜひ会場へ足をお運びください。

豊橋交響楽団音楽監督 下谷剛嗣

山澤 慧(チェロ) Kei Yamazawa, Cello

東京都町田市出身。東京藝術大学卒業、同大学院修了。

第11回現代音楽演奏コンクール「競楽XI」第1位、第24回朝日現代音楽賞、第24回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

音川健二、藤沢俊樹、河野文昭、西谷牧人、鈴木秀美、山崎伸子の各氏に師事。2017年にはアンサンブル・モデルンのチェロ奏者、ミハエル・カスパーのもとフランクフルトにて研鑽を積む。

2015年に20世紀以降に書かれた無伴奏チェロ曲のみを集めた自主企画「マインドツリー」、また2021年には「邦人作曲家による作品集」シリーズを立ち上げ、定期的に演奏会を開催している。

ソロ活動のかたわらオーケストラとの共演も数多く、2019年2月には「明日を担う音楽家たち」公演にてルトスワフスキチェロ協奏曲を東京シティ・フィルと共演。2020年11月には飯森範親指揮、日本センチュリー交響楽団とベートーヴェンの三重協奏曲を共演、2022年5月に山下一史指揮、千葉交響楽団とドヴォルザークのチェロ協奏曲、同年6月にはジョルト・ナジ指揮、藝大フィルハーモニア管弦楽団とリゲティのチェロ協奏曲を共演した。

藝大フィルハーモニア管弦楽団首席チェロ奏者、千葉交響楽団契約首席チェロ奏者。

<https://www.yamazawakei.com/>

新田 ユリ(指揮) Yuri Nitta, Conductor

1990年年ブザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト、1991年東京国際音楽コンクール〈指揮〉第二位受賞。東京交響楽団を指揮してデビュー後、国内主要オーケストラへ客演。2015年～2020年愛知室内オーケストラ初代常任指揮者を務める。2000年10月から一年間文化庁芸術家在外研修生としてフィンランド・ラハティ交響楽団にて音楽監督オスモ・ヴァンスカのもと研鑽を積む。以後日本とフィンランドを拠点とする。クオピオ交響楽団、ミツケリ市管弦楽団、ヨエンスー市管弦楽団、クリスチャンサン管弦楽団、南デンマーク・フィルハーモニー管弦楽団等北欧各国のオーケストラに客演。フィランドの歴史ある音楽祭からも招聘、2005年～2007年オウルンサロ音楽祭、2006年・2013年・2019年リエクサ・プラスウィークで指揮。またゲルハルト・オピッツ、シプリアン・カツァリス、マキシム・ヴェンゲーロフ、ダニエル・ゲーデ、ティボール・ギエンゲ、アルペーナ・ダナイローヴァ、タマーシュ・ヴァルガ、ヨウコ・ハルヤンネ、オイスタン・ボーズヴィーク、ワルター・アウアー等世界的ソリストとも共演。尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、小松一彦各氏に師事。現在、桐朋学園大学指揮科特任講師、相愛大学非常勤講師を務める。日本シベリウス協会第3代会長、日本・フィンランド新音楽協会代表。著書に「ボホヨラの調べ」(五月書房新社)。公式ウェブサイト

<https://www.yuri-muusikko.com>(森と湖の詩)

【豊橋交響楽団プロフィール】2026

豊橋交響楽団は昭和40(1965)年創立のアマチュアオーケストラです。

現在は東三河を中心に、名古屋や浜松など広い地域から集まった団員で構成されています。年齢層も幅広く、下は中学生から上は70歳を超える団員まで。100名余で毎週日曜日の午後、練習に励んでいます。

主な活動は、ライフポートとよはしコンサートホールで開催される年2回の定期演奏会(現在135回)と、東三河地区などへの巡回コンサート(現在115回)です。この間、世界で活躍する著名な指揮者や演奏家と数多くの共演を果たしました。また、地元の演奏家の皆さんと共演する演奏会も数多く開催しています。

当団は創立当初から、豊橋市内から奥三河までの小中学校で巡回コンサート(音楽教室)を行っています。山間地や離島などで生のオーケストラの演奏を聴く機会の少ない地域の老若男女とともに、音楽の楽しさや素晴らしさを共有することこそ重要な活動であると位置づけて巡回コンサートを開催しています。

また、創立者の故森下元康氏の呼びかけにより1972年には国内のアマチュアオーケストラの交流を図るため「日本アマチュアオーケストラ連盟」(現(公社)日本アマチュアオーケストラ連盟(JAO))を設立。さらに、2007年には地球規模での交流を目指して「NPO法人世界アマチュアオーケストラ連盟」を結成。豊橋交響楽団は、現在もJAOの本部オーケストラとして全国のアマオケの活動に対して豊橋の地から発信を続けており、日本のアマオケ界のリーダーであり続けようと、活動しています。

これからも、郷土の文化、教育の発展に貢献する企業を目指して参ります。

株式会社豊川堂 代表取締役社長 高須 大輔

新しい知識との出会い

ほう せん どう
本の豊川堂